

# 伊勢新聞

発行所：伊勢新聞社

〒514-0831 津市本町34番6号

☎059-224-0003 FAX059-226-3554

www.isenp.co.jp

©伊勢新聞社 2012

伊 勢 新 聞

平成24年(2012年)4月26日

木曜日

災害時の非常食セット(手前)と、協定を結んだ古谷代表理事(左)と吉川危機管理監(四日市市役所で)



## 災害時に非常食配布

### 四日市市、推進機構と協定

【四日市】四日市市は二十五日、高齢者の給食サービスなどを展開する市内の「一般社団法人日本非常食推進機構」と、災害時の非常食に関する協定を結んだ。

同機構は、企業の協賛で製造したアルファ米、二ッの水、ぶどう糖などを詰めた「白い小箱」の非常食セットを、七月下旬から八月

上旬をめどに塩浜地区や中心商店街、大型スーパーなどで約六千個、無料で市民に配布する。

災害時には自身で使用でき、近隣市町で災害が起きた場合には、同機構が回収して被災地へ送る。使用しなかった場合は、非常食の賞味期限内の三年後、NGOを通じて発展途上国のアフガニスタンなどに寄付するという。県内では桑名市、鈴鹿市、伊勢市、東員町に続き五件目の締結。

同機構の古谷賢治代表理事(四ミ)は、「多くの人に危機意識を継続して持つてもらえるよう、南海トラフで災害影響のある地域一千万人を目標に行政の協力を得ながら広めていきたい」と話した。同市の吉川順一郎危機管理監は「市の備蓄以外にも備蓄数が把握できる。地区防災組織の中でも活用できれば」と歓迎した。